

NEWS RELEASE

2020-18

2020.12.09

駅のバリアフリー化に向けた当社の取組を紹介するプロモーション活動

「阪急バリアフリープロジェクト」を展開します

阪急電鉄では、駅のバリアフリー化に向けた想いや取組を紹介するプロモーション活動として「阪急バリアフリープロジェクト」を展開し、12月10日(木)から来年12月までの約1年間、全4回にわたり、駅や車内のポスター・デジタルサイネージ、ホームページ等で情報発信します。



第1回(12月～3月掲出)の車内吊ポスター

本プロモーションでは、当社が2000年の交通バリアフリー法の施行前から駅のバリアフリー化に取り組んできた歴史や、複雑な構造や立地条件から工事が困難な駅での創意工夫による施工事例、深夜の限られた時間等の制約を乗り越えて作業に従事する社員の様子などを紹介していきます。

ポスターやデジタルサイネージでのビジュアルな展開にあわせて、当社ホームページ内の「阪急未来線」では、駅のバリアフリー化に直接携わる社員の想いや取組をお伝えします。

当社では、本年5月に発表した「阪急阪神ホールディングスグループ サステナビリティ宣言」の重要テーマの一つに「安全・安心の追求」を掲げており、これを実現するため、「安全で災害に強いインフラの構築を目指すとともに、誰もが安心して利用できる施設・サービスを日々追求していく」こととしています。今後も、この方針に基づき、さまざまなお客様のニーズに応えられるよう、駅のバリアフリー化をはじめ、安心して快適な施設の充実を図ってまいります。

「阪急バリアフリープロジェクト」の概要は次ページのとおりです。



1. 掲出時期・テーマ(予定)

	掲出時期	テーマ(予定)
第1回	2020年12月～	駅のバリアフリー化への想いと現状 駅のバリアフリー化の現状と、計画・立案に携わる社員のバリアフリー化への想いを紹介します。
第2回	2021年4月～	駅のバリアフリー化を推し進めてきた歴史の紹介 (伊丹駅) 交通バリアフリー法の施行前から駅のバリアフリー化を先駆的に推し進めてきた歴史を、阪神・淡路大震災後にバリアフリーのモデル駅として整備された伊丹駅を中心に紹介します。
第3回	2021年7月～	一步踏み込んだ駅のバリアフリー ～嵐電との交通結節点～ (西院駅) 地域との連携と創意工夫により、駅のバリアフリー化と「嵐電西院駅」とのスムーズな乗り換えを実現した取組事例を紹介します。
第4回	2021年10月～	さまざまな制約を乗り越えてバリアフリー化の作業に従事する社員 深夜の限られた時間や狭小な作業空間などの制約を乗り越えて、バリアフリー化に向け地道な作業に懸命に取り組む社員の姿や想いを紹介します。

2. 主な掲出媒体・掲出場所

	掲出媒体	掲出場所
ポスター	駅掲出 (B2サイズ)	全87駅(花隈駅を含む、天神橋筋六丁目駅を除く)
	車内吊掲出 (B3サイズ)	全1291両
デジタルサイネージ	大阪梅田駅	1階コンコース (梅田ツインビジョンほか) 2階コンコース (2階中央改札前) 3階コンコース (3階改札前)
	西宮北口駅	にしきたワイドビジョン
	神戸三宮駅	東改札前
	阪急各駅改札口 お客様ご案内ディスプレイ	全87駅(花隈駅を含む、天神橋筋六丁目駅を除く)
ウェブサイト	阪急電鉄ホームページ「阪急未来線」	https://www.hankyu.co.jp 阪急未来線 🔍

3. 公開開始時期

2020年12月10日(木) (デジタルサイネージは12月14日(月))

以上